

株主・投資家の皆様へ

第32期

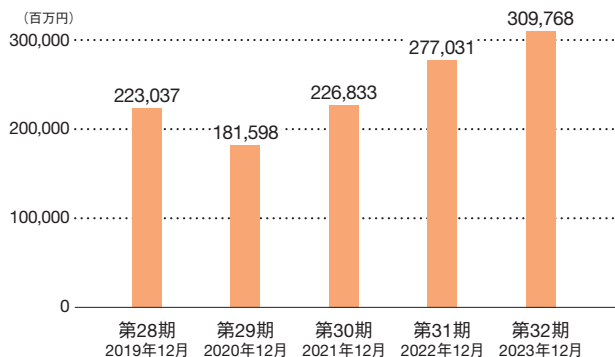
株主通信

2023年1月1日から
2023年12月31日まで

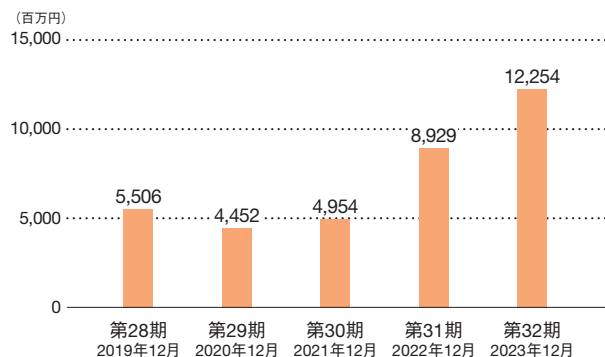
Contents

連結業績ハイライト	01
株主の皆様へ	02
事業の概況	03
2024-2026年 新中期経営計画	04
シークスグローバルネットワーク	07
2023年トピックス	09
株式の状況	10
役員の状況	10

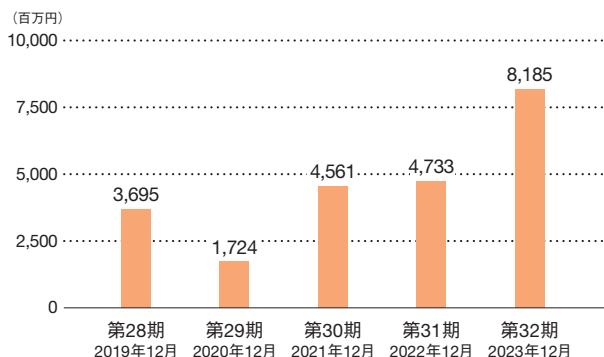
売上高



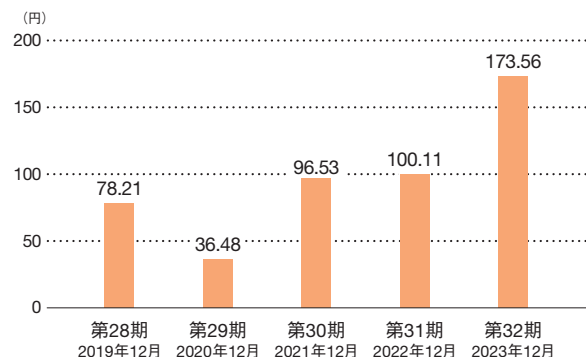
営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



		第28期 2019年12月	第29期 2020年12月	第30期 2021年12月	第31期 2022年12月	第32期 2023年12月
売上高	(百万円)	223,037	181,598	226,833	277,031	309,768
営業利益	(百万円)	5,506	4,452	4,954	8,929	12,254
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	3,695	1,724	4,561	4,733	8,185
1株当たり当期純利益	(円)	78.21	36.48	96.53	100.11	173.56



代表取締役会長
村井 史郎

皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第32期株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の世界経済は、ウクライナや中東などで不安定な情勢が続くなか、脱コロナによる景気の急回復が見られる一方、金利やインフレ上昇の影響もあり、地域によってまだ模様の展開となりました。地域別に見ますと、米国では良好な雇用情勢や実質所得の増加を背景に、個人消費が堅調に推移しました。欧州では、インフレや金融引締め継続に伴う景気の下押し圧力が依然として強く、景気は低迷しました。中国では、不動産市場の低迷に加え個人消費も回復力に乏しく、景気は減速傾向が続きました。その他の新興国については、個人消費やサービス産業を中心に堅調に推移しました。わが国では雇用や所得環境の改善を背景に、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しました。

このような経済環境のもと、当社の関連市場においては車載関連機器分野を中心とした電装化の需要の高まりを受け、米州、東南アジア、日本を中心として大手グローバル企業との取引が拡大し、連結売上高3,098億円、連結営業利益123億円と、2021年～2023年の中期経営計画における最終年度に過去最高の売上と利益を達成することができました。これもひとえにステークホルダーの皆様によるご支援の賜物と心から御礼申し上げます。

また2月20日に、2024年～2026年の3か年における新たな中期経営計画も発表いたしました。

車載関連機器分野、産業機器分野を中心とした需要拡大への対応や電子機器の製造品質の更なる向上の実現に加え、プリントドエレクトロニクスや人材紹介ビジネスなどの新たなビジネスの創出に挑戦し、収益力の向上に努めます。また、自動化、効率化の観点に重きをおいた設備投資や成長性の高いビジネスへの投資、在庫削減等によるキャッシュの創出など、成長と資産効率の両立を重視した経営管理・財務面の強化に注力いたします。さらに、脱炭素社会への貢献として引き続きCO₂排出量の削減に取り組むとともに、人的資本経営を一層推進し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みも推進します。このたび導入しました業務管掌制度のもと、新中期経営計画のビジョン「清く、正しく、正確に」を心がけ、企業価値の更なる向上を目指してまいります。

最後に、今後も「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」としてフェアウェイの真ん中で事業活動を行い、ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう邁進してまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年3月

第32期 2023年12月

売上高	3,097億6千8百万円	前期比 11.8%増
営業利益	122億5千4百万円	前期比 37.2%増
親会社株主に帰属する当期純利益	81億8千5百万円	前期比 72.9%増

事業の概況

品種別の状況

当社が取り扱う電子部品・基板実装品の最終製品を用途別にご紹介いたします。

車載関連機器 192,673百万円 62.2%

カーマルチメディア、車載エクステリア、メーター、ECU、スイッチ、準ミリ波レーダー、ABS、カメラ、バッテリーセンサー他



その他 4,646百万円 1.5%

その他電子部品、自動車用ワイヤーハーネス、オートバイ、インク 他



情報機器 24,349百万円 7.9%

事務機器、OA機器、プロジェクター 他



産業機器 61,601百万円 19.9%

パワーツール用エンジン点火装置、バッテリーパック、航空機内電子機器、インバーター、医療機器、スマートメーター、工業用ミシン 他

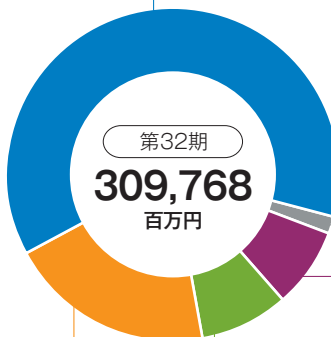


家電機器 26,500百万円 8.6%

デジタル家電、エアコン、冷蔵庫、知育玩具、健康器具、電子楽器 他



※写真はイメージです。



SIIX VISION 2026 清く、正しく、正確に

フェアウェイのど真ん中で最高のサービスを提供する

SIIXは真摯かつ誠実な姿勢を持って全てのステークホルダーとの関係を深め、共に成長し発展していくことを目指します。そのために、信頼性、透明性、そして公正さを基本原則として、ステークホルダーの期待と要望を尊重し、そのニーズを満たすために日々、正しい行動を積み重ねます。

業績目標

2026年最終年度 連結業績目標

売上高

3,700億円

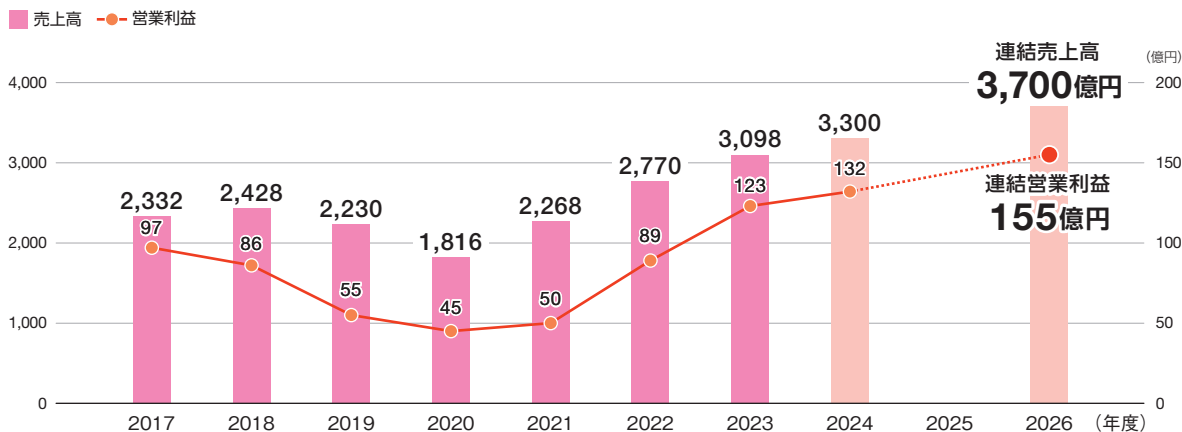
営業利益

155億円

営業利益率

4.2%

※RATE USD=JPY132



4つのCHALLENGE

CHALLENGE

1 新規ビジネスへの挑戦 最高品質の提供

- 車載ビジネスの深耕開拓
- 製造DXの加速
- 新規ビジネスの創出
(プリントドエレクトロニクス、ロボティクス、人材派遣等)
- 新規エリアの拡大
(インド、マレーシア、ベトナム、韓国、シリコンバレー等)
- Non-EMSビジネスの創出

世界各国にて旺盛な需要を今後も期待できる車載関連、産業機器関連分野のビジネスを中心に営業活動の推進および、製造DXの加速による製造品質のさらなる向上を実現し、安定した事業の成長を目指します。

また、プリントドエレクトロニクス、ロボティクス、人材派遣など新たな事業分野にも挑戦し、ビジネス拡大の可能性を追求いたします。

CHALLENGE

2 脱炭素社会への貢献

- 脱炭素ビジネスの推進
(EV、バッテリー、エアコン等)
- CO₂排出削減活動の推進
(SBTiへの賛同、全スコープの活動強化等)

[CDPスコア向上 気候変動] B-(2022年) ▶ A-(2023年)

環境保護の需要への対応として、EV、バッテリー、エアコン等脱炭素関連ビジネスを推進いたします。

また、太陽パネルの設置や再生電力の利用を加速し当社事業におけるCO₂排出量を削減するとともに、仕入先様と協力しサプライチェーン全体でのCO₂排出量を削減に取り組んでまいります。



CHALLENGE

3 経営管理、財務

- 在庫削減、フリーキャッシュフローの創出
- 業務革新
- 自動化、効率化投資

半導体不足の環境の中課題となった在庫を削減し、また支払サイトの見直し等を行い、効率的な資金運用を行ってまいります。

また、業務改革や、自動化及び効率化の観点から設備投資を行い、より効果的なアウトプットの実現を目指します。



↓
CHALLENGE

4 人的資本経営

- SIIX Principlesの浸透
- 社員教育制度「シークスアカデミー」の創設

当社の企業理念「SIIX Principles」の更なる浸透を目指します。また、「シークスアカデミー」を創設し、全社員の知識・スキルの底上げのみならず、企業理念やシークスの一員としてのあり方など、企業の持続的成長と健全な企業としての人的資本経営を推進してまいります。

目標とする指数

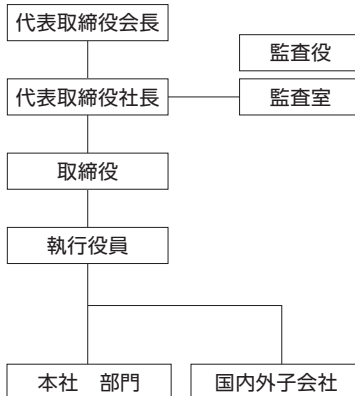
ROE	営業利益率向上	CCCの改善
安定的に 10% 以上を維持	4.0% ▶ 4.2%	94日 ▶ 65日

ガバナンスの強化(業務管掌制度の導入)

中期経営計画を確実に実行するため、業務管掌制度を導入いたします。

経営の監督機能、意思決定機能、取締役の責任および役割を明確化することで、意思決定の迅速化による更なる経営の効率化を進めるとともに、業務に対する監督機能の強化を図ります。

BEFORE



AFTER (2024年3月定時株主総会承認後)

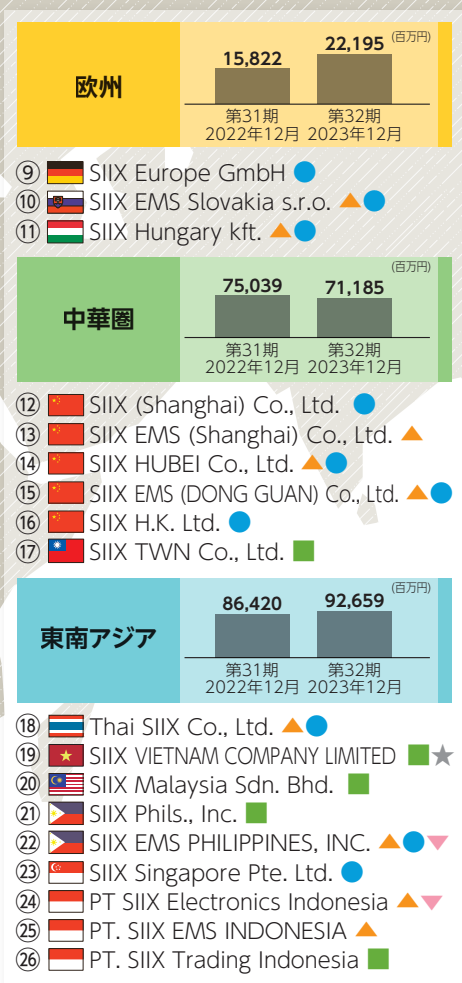


シークスグローバルネットワーク

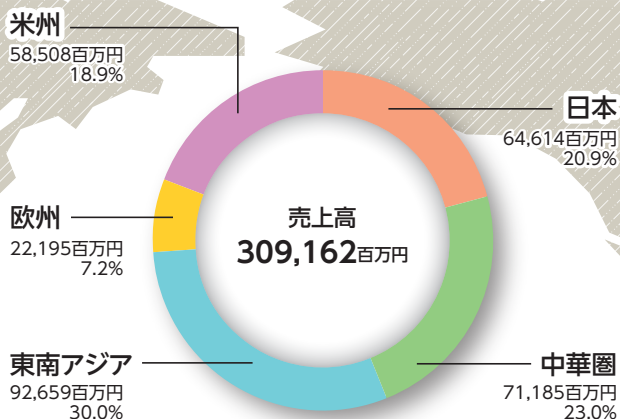
幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様に様々なアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みの一つです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界15カ国に約50ヶ所設置しております。(2023年12月末現在)

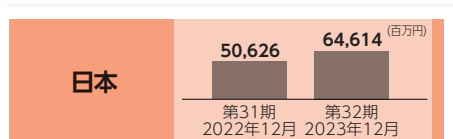
シークスグローバルネットワーク



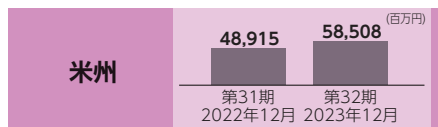
セグメント別売上高構成比



※連結売上高309,768百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない605百万円が含まれております。



- ① シークス株式会社
- ② シークスエレクトロニクス株式会社



- ③ SIIX U.S.A. Corp.
- ④ SIIX U.S.A. Corp. Detroit Branch
- ⑤ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch
- ⑥ SIIX MEXICO, S.A DE C.V.
- ⑦ SIIX EMS MEXICO, S. de R.L de C.V.
- ⑧ SIIX do Brasil Ltda.

主な事業内容

- 電子部品等の販売・物流
 - 電子部品等の販売
 - 各種基板実装および
機器・部品の組立・加工
 - プラスチック成形および金型製造
 - 支社・駐在員事務所
- ※★は非連結子会社

5月

タイ工場 増築第一期工事竣工

ASEAN地域におけるグローバル顧客との車載関連ビジネスの拡大を見据え、増築したタイ工場の第一期工事が竣工しました。第二期工事は24年末に竣工予定となり、生産能力は現在の約2倍となります。今後拡大が見込まれる需要へしっかりと対応してまいります。



当社タイ工場新棟

10月

スロヴァキア国立オペラ2023「蝶々夫人」開催

10月に2020年より休止していた「スロヴァキア国立オペラ日本ツアー」を4年ぶりに行いました。今回の大阪公演は、2020年のスロヴァキアと日本の交流100周年、2023年のスロヴァキア独立30周年、また2024年の大阪における名誉領事館開設10周年を記念し、大阪市中央公会堂で盛大に開催しました。今後とも、両国交流の促進に協力してまいります。

12月

シンガポール科学技術研究庁(A*STAR)、 およびSIIX-AGT MEDTECH社との合併会社を設立

シンガポールにおける自動化、省人化、AI化のニーズへ対応するため、シンガポール科学技術研究庁と当社の関係会社との合併でBotmind社を設立いたしました。本合併事業におけるロボットの製造・拡販は警備・監視ロボットや、ファシリティ・マネジメント、飲食業、清掃業等の幅広い分野での活用が期待されており、今回の合併は、この流れにいち早く乗るための施策であります。SIIX-AGTで培った技術力や、パートナー企業との協業に加え、SIIXシンガポールの活動実績をフル活用し、他に類を見ないシンガポール発のロボットソリューション・プラットフォームを目指してまいります。

CO₂総排出量(Scope 1、2)削減の促進

当社は、非化石証書を購入や太陽光パネルの設置、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを促進したことにより、2022年のCO₂排出量を2021年比で96.4%削減いたしました。引き続き、再生可能エネルギー由来の電力への切り替え等の取り組みを進め、環境負荷の軽減と持続可能なビジネスの促進を目指します。

(2023年12月31日現在)

株式・株主の状況

2023年12月31日現在

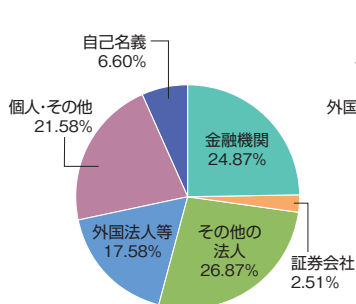
発行可能株式総数 160,000,000株
 発行済株式総数 50,400,000株
 当期末株主数 31,896名

[大株主]

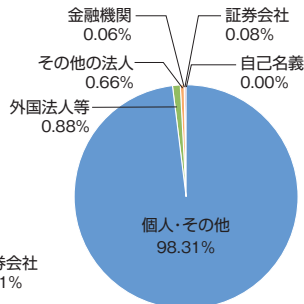
株主名	株式数(株)	持比率(%)
サカティンクス株式会社	10,812,000	22.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,446,200	9.45
有限会社フォーティ・シックス	2,200,000	4.67
株式会社りそな銀行	2,170,800	4.61
株式会社三井住友銀行	2,160,000	4.59
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	1,451,700	3.08
村井 史郎	1,408,727	2.99
THE BANK OF NEW YORK 133652	924,900	1.96
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口4)	841,200	1.79
株式会社三菱UFJ銀行	720,000	1.53

※上記のほか当社所有の自己株式3,325,625株(6.60%)があります。

[所有者別所有株式数]



[所有者別株主数]



代表取締役会長	村井 史郎
代表取締役社長	柳瀬 晃治
取締役	大野 精二 経理部長
取締役	丸山 徹 総務部長 兼 東京総務部長
取締役	高木 浩昭 グループ技術統括担当 兼 シークスエレクトロニクス株式会社担当
取締役	井口富紀子 秘書室長 兼 CSR担当
取締役	高谷 晋介 北辰税理士法人 代表社員 及び住宅株式会社 社外監査役
取締役	大森 進
取締役	吉澤 尚 GRIT Partners 法律事務所 代表社員 Willsame株式会社 代表取締役
監査役(常勤)	吉田 明生
監査役	新田 泰生 新田会計事務所 所長
監査役	藤井 安子 弁護士法人藤木新生法律事務所 弁護士
執行役員	村上 正樹 IR・広報部長
執行役員	浦谷 行信 タイ地域担当 兼 Thai Siix Co., Ltd. マネージングディレクター
執行役員	平岡 和也 中華圏担当 兼 Siix H.K. Ltd. マネージングディレクター 兼 Siix EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 董事長 兼 総経理 兼 Siix HUBEI Co., Ltd. 董事長 兼 美的PJ担当 兼 Siix (Shanghai) Co., Ltd. 担当 兼 Siix EMS (Shanghai) Co., Ltd. 担当 兼 Siix TWN Co., Ltd. 担当
執行役員	岩武 孝明 北米・中南米地域担当 兼 Siix U.S.A. Corp. マネージングディレクター 兼 Siix EMS MEXICO, S. de R.L. de C.V.担当
執行役員	佐治 宏哲 欧州地域担当 兼 Siix Europe GmbH マネージングディレクター 兼 Siix EMS Slovakia s.r.o. 担当 兼 Siix Hungary Kft. 担当
執行役員	河西 正則 インドネシア・フィリピン地域担当 兼 PT.Siix Trading Indonesia プレジデントディレクター 兼 PT.Siix EMS INDONESIA プレジデントディレクター 兼 PT Siix Electronics Indonesia 担当 兼 Siix EMS PHILIPPINES, INC. 担当 兼 Siix Phils., Inc. 担当
執行役員	吉岡 照仁 東京営業部長
執行役員	小出 裕一 情報システム部長
執行役員	福井かおる 資材統括部長
執行役員	蒲田 顕久 シンガポール・ベトナム・マレーシア地域担当 兼 Siix Singapore Pte. Ltd. マネージングディレクター 兼 Siix VIETNAM COMPANY LIMITED担当 兼 Siix Malaysia Sdn. Bhd. 担当
執行役員	江川 善信 大阪営業部長 兼 名古屋営業部長
執行役員	福井 由紀 法務部長

※取締役のうち、高谷晋介氏、大森進氏、吉澤尚氏は、社外取締役です。
 ※監査役のうち、新田泰生氏、藤井安子氏は、社外監査役です。

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット
ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<https://www.siix.co.jp/ir/notice/>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所プライム市場

証券コード 7613

[株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<https://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをご知らせいたします。ご希望の方は、当社のWebサイトIR関連サービスのページ(https://www.siix.co.jp/ir/ir_mail/)から、簡単にご登録(無料)いただけます。



この冊子は植物油インキを使用しております。

会社概要

(2023年12月31日現在)

商号 シークス株式会社
設立 1992年7月1日
資本金 2,144百万円
従業員数 個別 214名
連結 11,052名
拠点 大阪本社、東京本社、名古屋営業部
証券コード 7613
URL <https://www.siix.co.jp/>

株主優待

ギフトカード

■対象:毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上の当社株式を保有の株主様

内容(お一人あたり)	
10単元(1,000株)以上	3,000円分のギフトカード
5単元(500株)以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元(100株)以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。
※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

海外工場視察旅行

■対象:1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様
※「1年以上連続保有の株主様」とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。

■内容:当社のビジネスモデルに対する理解を深めていただくことを主眼に、当社海外工場の視察を含む旅行に、上記の長期保有の株主様の中から抽選で10名様をご招待いたします。(毎年1回)

配当推移

	第30期 2021年12月	第31期 2022年12月	第32期 2023年12月
配当金(円)	30	31	44
配当性向(%)	31.1	31.0	25.4